

教科	科目	対象学年学科	単位数	教科書	使用教材
保健体育	保健	1年普通科 1年国際科 1年農業環境科 1年福祉科	1単位	現代高等保健体育 (大修館)	現代高等保健ノート (大修館)

到達目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
------	---

	①知識及び技能	②思考・判断・表現等	③学びに向かう力、人間性等
評価の観点	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

学習の評価	定期考査で①知識及び技能や②思考・判断・表現について、学習状況で①②③を加味し総合的に評価する。
-------	--

単元	学習内容	到達目標
現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきており、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解する。 健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わっていることを考察する。 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられることやその予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解する。 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解する。 喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になることや薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないことを理解する。また、それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを考察する。 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であることを理解する。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを考察する。
安全な社会生活	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であることを理解する。 交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わっていることを理解する。また、交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを十分に理解する。 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できることや応急手当には、正しい手順や方法があることを理解する。 応急手当は、障害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解する。また、心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことができる。